

# フュータイル・ケアと人生会議 –後悔しない最期のために–

## 第4回 北見在宅圏域多職種連携・ケアネットワーク研修会のご案内

脳神経外科医から施設医、在宅医療へと歩んだ橋本政明医師の経験から、「死ぬまで生きる」ための対話について考えます。講師はこれまで在宅療養者や施設入所者に対し、数年前からのフレイルや低栄養の変化を重視し、スコア化しました。これを「死の兆候」ではなく「対話の契機」と捉え、ACP（人生会議）へつなげています。講演では、変化スコアの仕組みやフュータイル・ケア（無益な治療や延命の拒否）を回避し、どう生きるか考える対話を学びます。「終末期からACP」ではなく、「フレイルからACP」について考える講演会です。



### 日時：

令和8年6月16日(火)

18:30 から 20:00

場所：[オホーツク JA Bldg.](#)

(オンライン参加可)

### 対象：

北見地域の医療・介護従事者

参加費：無料

### 参加申し込み：

下記のQRコードを読み取り

Google フォームからお申込みください

締切り：6/11日(木)まで



Ctrl キーを押しながら QR コードを直接  
クリックしても申し込みできます

### お問い合わせ

北見在宅医療圏連携拠点センター 関

北見市中央三輪2丁目302-1

北星記念病院内

電話：0157-51-1244

メール：[kitami.medicare@nouge.gr.jp](mailto:kitami.medicare@nouge.gr.jp)

### I 報告：施設入所高齢者の死亡時ケアと医療的対応に関する 質問紙調査研究調査速報

報告：米田 将基さん [Cathalyst](#)(カタリスト) 理学療法士

### II 講演：フュータイル・ケアと人生会議-後悔しない最期のために-

座長：菊地 憲孝先生 [オホーツク勤医協北見病院](#) 院長

北見在宅圏域多職種連携・ケアネットワーク代表幹事

講師：橋本 政明 先生

[逢縁クリニック](#) (最高顧問・医師) (元)脳神経外科専門医

### 講師からのメッセージ

脳神経外科医として助ける医療から、介護老人保健施設の施設長、訪問診療医を経て知った「死ぬまで生きる」の意味。

人の死の多くにおいて、死の直前までになんらかの医療の介入があります。しかしそれは、自分の望む死のあり方なのでしょうか？

アメリカには、Futile care (フュータイル・ケア;無益な治療や延命の拒否)という言葉があります。

もし、将来の医療・ケアについて、あなた自身が大切にしている価値観を前もって考え、家族や信頼できる人、医療・介護従事者と繰り返し話し合い、共有するプロセスがなかったら、どうでしょう。

医療側が「無益」と判断しても、家族が希望することだって否定できません。

患者の尊厳に関する意思表示がない場合に行われるかもしれないフュータイル・ケアを回避するために、橋本先生と人生会議 (ACP:アドバンス・ケア・プランニング) について考えてみようではありませんか。